

6 症状の進行に対応する「認知症ケアパス」

個人差はありますが、認知症は下表のように進行し、その時期ごとに適切な支援や利用できるサービスがあります。

認知症ケアパスを見ると、認知症の進行に応じて家族の心がまえや医療・介護サービスといったケアの流れが具体的にわかります。

認知症の進行度		本人の様子	家族の心がまえと対応のポイント	医療や介護の支援
軽度認知障害 (MCI)	認知機能が低下した状態だが、認知症ではない	<ul style="list-style-type: none"> ・同じことを何度も話すことが増える ・リモコンや電話の操作がわからなくなる ・小銭での計算が面倒でお札で支払うようになる ・手の込んだ料理を作らなくなる ・外出するのが面倒になり、身だしなみに気を使わなくなる 	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症に関する正しい知識や理解を深めましょう <p>ひとりで抱え込まないで！</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症予防に取り組みましょう ・かかりつけ医に相談しましょう
認知症 (軽度)	日常生活は自立している	<ul style="list-style-type: none"> ・大事な約束を忘れ、困ることがある ・漢字や計算の間違いが多くなる ・楽しんでた趣味に興味がなくなった ・その場を取り繕うとする ・冷蔵庫の中に同じものがいくつもあ 	<ul style="list-style-type: none"> ・同じことを何度も聞かれても、できるだけきちんと対応しましょう ・忘れてしまうことや失敗に対して、指摘したり注意したりすることは、本人との関係を悪くし、症状を悪化させます ・できることは取り上げずに、できないことをサポートしましょう 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センターや市町の窓口にご相談しましょう ・介護保険サービスの利用について検討しましょう
	誰かの見守りがあれば日常生活は自立している	<ul style="list-style-type: none"> ・たった今話したことを忘れる ・料理をしなくなる ・処方された薬の管理ができない ・些細なことで怒りっぽくなる 	<ul style="list-style-type: none"> ・本人の行動には理由があります ・なぜそのような行動をするのか考えることが大切です ・介護者の気持ちは本人にも伝わります ・介護者がリラックスできる時間を持つことは必要です <p>頑張りすぎない！</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家族だけでなく地域での見守りや支えあいも必要です ・ご近所さんや担当の民生委員に声をかけてみましょう
認知症 (中等度)	日常生活に手助けや介護が必要	<ul style="list-style-type: none"> ・季節にあった服装が選べない ・顔を洗わない、入浴を嫌がるなど身だしなみを気にしない ・排泄を失敗する ・知人のことがわからなくなる 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な症状が現れてきて介護者が疲れてしまうことも… ・通所系サービスのみでは困難な時期、訪問系や宿泊系サービスの検討などをしましょう 	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の症状が強い場合は、かかりつけ医に相談し、必要な時は専門の医療機関の受診を検討しましょう
認知症 (重度)	常に介護が必要	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な人の顔がわからなくなる ・自由に身体を動かさなくなる ・食べ物の飲み込みに支障がでる ・車いすやベッド上での生活が長くなる ・言葉数は少なくなるが、感覚（目・耳・鼻などの機能）は残っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・できなくなっていく能力を悲観的にとらえるより、残された能力を大切にしましょう ・本人が安心できる環境づくりを心がけましょう <p>一緒にいられる時間を大切にしましょう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・終末期のケアについて家族間で話し合いをしておきましょう

本人の意思を尊重しましょう

相談

かかりつけ医・オレンジドクター・認知症疾患医療センター・地域包括支援センター・ケアマネジャー・認知症地域支援推進員・民生委員等

